

お客様各位

2021年10月27日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
此の度、2021年10月27日付で下記農薬の適用が[変更登録](#)されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第23075号 スターダム箱粒剤

適用変更の内容

- ・ 使用量「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50～100g）」を追加する。

【変更後の適用内容】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジメトアトを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	カミシ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	ウカ類 イコシ類 イネズグムシ イネトイシシ イネハエ フタホシコガ コメテウ	高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～100g)	移植3日前～移植当日			
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g				

【変更後の使用上の注意事項（変更部分）】

- ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
- ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- ・ 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照下さい。

以上